

はじめに

本書は、平成二十一年から実施しております国庫補助事業「国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査」の報告書資料編です。本調査は、大分県杵築市山香町を主な対象地としたものです。

戦後六〇年あまりを経て、農業の機械化、生活様式や産業構造の変化、ムラから都市へという人口移動によって、日本のムラは変貌を遂げました。その中で、各地のムラには歴史を物語るものとして、古文書だけでなく、地名や水利、石造物や祭礼あるいは景観など、有形無形の遺産が残されています。この調査は、現在のムラに残された様々な歴史遺産を調査・記録し、現在から過去に遡及的にムラの歴史をたどり、その歴史的価値を明らかにするものです。

本報告書には、「山香郷域」に残る様々な歴史遺産のうち、江戸時代の人々のくらしに関わる記録類などを掲載いたしました。変貌著しい我が国のムラを見つめ直す時、本調査が契機となれば、幸いです。

最後になりましたが、これまで調査を御指導いただいた調査委員と調査員の先生方、そして調査に御協力を賜りました杵築市・杵築市教育委員会と地元の方々に厚くお礼申し上げます。

平成二六年三月

大分県立歴史博物館

館長 河野 光